

＜緩和ケア部会：今年度事業計画解説および進捗状況＞

◎活動内容により目的別に項目を分けている

【育成】

1. 3年以内に宮古医療圏内（宮古島市）及び八重山医療圏内（石垣市）でそれぞれ1回ずつ研修会を行う。
 - 研修会実現のため、情報収集等を行う3つのワーキンググループ（1グループ=4～5名）を発足させた。
2. 緩和ケア研修会指導者の育成
 - （1）各拠点病院において、次年度内に緩和ケア研修会の指導者（国立がんセンターおよび日本緩和医療学会が行っている指導者研修会の受講修了者）を精神的緩和部門1人、身体的緩和部門2人、それぞれ配置する。
 - 琉大病院から精神的緩和部門3人、身体的緩和部門3人。
 - （2）国立がんセンターおよび日本緩和医療学会が行っている指導者研修会において、沖縄県より毎回1人以上は必ず参加する。
 - 今年の派遣予定：琉大病院から精神的緩和部門2人、身体的緩和部門2人。
3. 緩和ケア専門医療従事者を育てる。

緩和ケア専門医療従事者を育てるために、引き続き努力する。協議未実施

 - 協議未実施

【普及】

1. 年4回緩和ケア研修会の企画、実施を行う。これまで2日間の研修会を土・日続けて行ってきたが、開業医の参加が困難である現状を踏まえ、日・日開催、あるいは日・月（祝日）開催で行う。
 - 北部地区医師会病院は実施日程未定（但し、日・日開催で調整中）
県立中部病院は2010年1月30日（土）・31日（日）に実施予定
那覇市立病院12月19日（土）・20日（日）に実施予定
琉大病院は8月22日（土）・23日（土）に実施予定
2. 緩和ケア病棟または緩和ケア病棟に準じた病棟普及を図る。

緩和ケア病棟または緩和ケア病棟に準じた病棟の普及を図るとともに、沖縄県、沖縄県医師会の協力を得ながら積極的にバックアップを行っていく。

 - ホスピス病棟への入院待機中に、病床満床のため死亡する患者数が相当数いるなか、緩和ケアの情報提供が普及していない状況である。

3. 2次医療圏（地域）ごとに緩和ケア協議会を設置する。
2次医療圏ごとの緩和ケア協議会設置の実現に向けて、積極的なバックアップを行うとともに、沖縄県緩和ケア研修会において、地域ネットワークの構築に活かせるようなプログラム作りを目指す。
- 協議未実施

【強化】

1. ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携を強化する。
現在進行中の緩和ケアの現状調査を基に、ホスピス病棟また在宅医療の現状を把握し、横の連携をさらに強化していく
- 病院と在宅医療の連携強化のためのワーキンググループを発足させた。
2. がん診療を行っているすべての病院に緩和ケアチームを作る。
がん診療を行っているすべての病院に緩和ケアチームが置かれるように、部会全体で積極的なバックアップを行っていく。
- がん診療を行っている病院にたいして、緩和ケアに関する調査アンケートを実施するワーキンググループを発足させた。
3. 拠点病院緩和ケアチームと在宅医療を行う診療所（開業医）との合同カンファレンスを定期開催する。
合同カンファレンスを行えるよう積極的なバックアップを行うとともに、関係者が必要な情報がすぐに入手できるよう情報を集め、提供できる体制を整える。
- 協議未実施

【広報】

- 拠点病院、およびそれ以外の病院において緩和ケア外来の普及を行う。
緩和ケア外来普及のため、引き続き努力する。
- 「緩和ケア」普及のためワーキンググループを発足させた。